

# 2か所から給与の支払いを受けている方の記載例

年末調整を受けた給与所得のほかに年末調整を受けていない給与所得がある方の場合

手順1  
13ページ参照

手順2  
14ページ参照

手順3  
18ページ参照

明治・・・「1」  
大正・・・「2」  
昭和・・・「3」  
平成・・・「4」

手順4  
29ページ参照

手順5  
33ページ参照

該当する事項がある方のみ記入

FA0110

〇〇 税務署長  
27年2月16日 平成26年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書A

住所 (又は居所) 〇〇市△△町×-××-×

フリガナ コトセ イ タロウ

氏名 国税 太郎

性別 男 世帯主の氏名 国税 太郎 世帯主との続柄 本人

平成27年1月1日の住所 同上

生年月日 3/46/1/16 電話番号 XX-XXXX-XXXX

第一表 (平成26年分以降以降用)

収入金額等	給与	7740000	課税される所得金額 (5-6)	3192000
所得金額	合計 (1+2+3+4)	5766000	上の2に対する税額	221700
所得から差し引かれる金額	社会保険料控除	1057197	配当控除	
	合計 (16+17+18+19)	2573197	復興特別所得税額 (35×2.1%)	465.5
			所得税及び復興特別所得税の額 (35+36)	22635.5
			外国税額控除	
			所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額	18957.2
			所得税及び復興特別所得税の申告納税額 (39-40)	36700
			配偶者の合計所得金額	
			延納届出額	000

※ 復興特別所得税額(35)欄の記入をお忘れなく。

郵便局名等 〇〇〇〇 預金種類 〇〇〇〇

整理欄 納管 事務 住民 検算 通日付印 年月日 一連番号

- 申告書は複写式になっています。申告書第一表と第二表を折りたたんだまま記入せず、広げるか、中央のミシン線で切り離してから記入します。
- 申告書は、ボールペンで、強く記入します。
- 申告書の該当する箇所は必ず記入します。
- 2枚目は複写式の控えになっていますが、取り外して使用しても差し支えありません。申告書を提出するときは、2枚目は取り外してください。
- この記載例では、「平成26年分 所得税及び復興特別所得税の確定申告の手引き 確定申告書A用」の該当ページを示しています。詳細については、「平成26年分 所得税及び復興特別所得税の確定申告の手引き 確定申告書A用」を参照してください。
- マス目に数字を記入する場合は、記入例①にならって、マス目の中にていねいに記入してください。
- 1億円以上の金額がある場合は、記入例②にならって記入してください。
- 訂正する場合は、記入例③にならって、訂正する文字を二重線で抹消し、上の欄などの余白に適宜記入してください。

記入例① 縦線1本 すきまをあける 上に突き抜ける 角をつくる 閉じる

記入例②

記入例③

【ご注意】

- ◎ 支払者から受領した「給与所得の源泉徴収票（原本）」を添付書類台紙に貼って提出しなければなりません。
- ◎ 退職所得以外の各種の所得金額の合計額が2,000万円を超える方は、平成26年12月31日現在の財産の種類や数量、価額、債務の金額などの明細を記載した「財産及び債務の明細書」を申告書と一緒に提出する必要があります。

(参考) 「給与所得の源泉徴収票」

平成26年分 給与所得の源泉徴収票										
支払を受ける者	住所又は居所	〇〇市△△町×-××-×		氏名	コケイ タロウ 国税 太郎		氏名	コケイ タロウ 国税 太郎		
種別	支払金額	給与所得控除後の金額	所得控除の額の合計額	源泉徴収税額						
給与・賞与	7,140,000	5,226,000	2,573,197	171,200						
控除対象配偶者の有無等	配偶者特別控除の額	控除対象扶養親族の数の有無等	障害者の数(本人を除く)	社会保険料等の金額	生命保険料の控除額	地震保険料の控除額	住宅借入金等特別控除の額			
〇	1	1	1	1,057,197	105,000	21,000	90,000			
国民年金保険料等の金額	国民年金保険料の金額	国民健康保険料等の金額	国民健康保険料の金額	国民年金等特別控除の金額						
0	0	0	0	0						
配偶者の合計所得	25,000	国民年金保険料の金額	25,000							
新妻・新夫の合計所得	35,000	国民健康保険料の金額	35,000							
妻 良子	子 一郎(年少)	中途退・退職		受給者生年月日						
明・大 昭	明・大 昭	26		46.11.16						
支払者	住所(居所)又は所在地	〇〇区〇〇×-×-×		氏名又は名称	〇〇産業株式会社					
				(電話)	××-××××-××××					

平成26年分 給与所得の源泉徴収票										
支払を受ける者	住所又は居所	〇〇市△△町×-××-×		氏名	コケイ タロウ 国税 太郎		氏名	コケイ タロウ 国税 太郎		
種別	支払金額	給与所得控除後の金額	所得控除の額の合計額	源泉徴収税額						
給与・賞与	6,000,000	4,180,000	1,837,372	18,372						
控除対象配偶者の有無等	配偶者特別控除の額	控除対象扶養親族の数の有無等	障害者の数(本人を除く)	社会保険料等の金額	生命保険料の控除額	地震保険料の控除額	住宅借入金等特別控除の額			
〇	0	0	0	1,057,197	105,000	21,000	90,000			
国民年金保険料等の金額	国民年金保険料の金額	国民健康保険料等の金額	国民健康保険料の金額	国民年金等特別控除の金額						
0	0	0	0	0						
配偶者の合計所得	25,000	国民年金保険料の金額	25,000							
新妻・新夫の合計所得	35,000	国民健康保険料の金額	35,000							
妻 良子	子 一郎(年少)	中途退・退職		受給者生年月日						
明・大 昭	明・大 昭	26		46.11.16						
支払者	住所(居所)又は所在地	〇〇区〇〇×-×-×		氏名又は名称	〇〇商会株式会社					
				(電話)	××-××××-××××					

手順1  
13ページ参照

手順2  
14ページ参照

32ページ参照

手順6  
34ページ参照

平成26年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書A

住所 〇〇市△△町×-××-×  
氏名 コケイ タロウ 国税 太郎

所得の内訳 (所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額)

所得の種類	種目・所得の生ずる場所又は給与等の支払者の氏名・名称	収入金額	源泉税及び復興特別所得税の源泉徴収税額の合計
給与	〇〇産業株式会社	7,140,000	171,200
給与	〇〇商会株式会社	600,000	18,372
合計		7,740,000	189,572

雑所得(公的年金等以外)・配当所得・一時所得に関する事項

所得の種類	種目・所得の生ずる場所	収入金額	必要経費等

住民税に関する事項

扶養親族の氏名 続柄 生年月日 別居の場合の住所  
国税 一郎 子 18.6.1

給与・公的年金等に係る所得以外(平成27年4月1日において既述未済の方は給与所得以外の)所得に係る住民税の徴収方法の選択  
 給与から引当  自分で納付

配当に関する住民税の特例  
非居住者の特例  
配当割戻控除額

寄附金税額控除  
経理府県、市区町村  
条件 都道府県 市区町村  
指分区 支部分

別居の控除対象配偶者・控除対象扶養親族の氏名・住所

配偶者の氏名 生年月日 住所  
国税 良子 明・大 昭 46.7.20 〇〇区〇〇×-×-×

控除対象扶養親族の氏名 続柄 生年月日 住所  
国税 一郎 子 明・大 昭 18.6.1 〇〇区〇〇×-×-×

所得から差し引かれる金額に関する事項

社会保険の種類	支払保険料	掛金の種類	支払掛金
源泉徴収	1,057,197		
合計	1,057,197		

新生命保険料の計 源泉徴収 〇〇〇〇  
旧生命保険料の計 源泉徴収 〇〇〇〇  
新個人年金保険料の計 源泉徴収 〇〇〇〇  
旧個人年金保険料の計 源泉徴収 〇〇〇〇  
介護医療保険料の計 源泉徴収 〇〇〇〇  
旧介護医療保険料の計 源泉徴収 〇〇〇〇  
地震保険料の計 源泉徴収 〇〇〇〇  
旧地震保険料の計 源泉徴収 〇〇〇〇

扶養控除額の合計 63

損害の原因 損害年月日 損害を受けた資産の種類など

損害の種類 損害金額 保険金などで補填される金額 差引損失額のうち災害関連支出の金額

支払医療費 保険金などで補填される金額

寄附金の所在地・名称 寄附金額

特別適用条文等

手順3  
18ページ参照

※ 記載例中における社会保険料の金額は、実際の金額とは異なります。